

安全 快適 長持ち

マンションライフを 応援します

分譲マンションには国民の1割以上、1450万人が暮らしています。都市における新しいコミュニティーの場です。日本共産党はマンションの維持・管理にたいする公的支援を充実させ、安全・快適で、長持ちするマンションをめざすとおりくみを応援します。



日本共産党

日本共産党の マンション政策

- 国や自治体の責任で耐震診断・改修への助成を強めます。
- 公共部分のバリアフリー化、省エネ化、アスベスト除去などを支援します。
- 大規模修繕への支援など既存ストックの長命化をはかります。
- 自治体による実態調査や相談窓口の整備をすすめます。
- 管理組合のとりくみへの行政支援を充実します。

詳しくは
http://www.jcp.or.jp/web_policy/2013/06/post-522.html

貯水槽の 定期検査に助成を

「マンションの水と細菌」が
問題に……『AERA』7月8日号

「マンションの水は大丈夫？」の声が上がっています。貯水槽で検査を実施しているのは、水道法で義務づけられた10㎡以上の施設で79.8%、それ以下だと3.2%にすぎません(厚生労働省調査)。「点検・清掃料金を安く」との声もあります。貯水槽は共用部分で公共的な性格を持っています。日本共産党は、水道水の安全確保と居住者負担の軽減のために、助成を行うことを提案しています。貯水槽ではなく、増圧ポンプなどで各家庭に直接給水する工事費用も助成すべきです。

固定資産税が増税される

2012年の税制改革法で、固定資産税・都市計画税が増税に。税負担を軽減してきた特例措置を段階的に縮小し、2014年度から廃止されるからです。「地価が大きく下がっているのに増税とは」と怒りの声が上がっています。公共的性格をもつ変電室や共用部分、集会室やプレイロットなどの固定資産税を減免すべきです。

アベノミクスで 給料は増えず負担ばかり…

アベノミクスは暮らしを直撃しています。給料はあがらないのに、食品や公共料金の値上げ、住宅ローン金利も10年固定が3カ月続けて上がっています。このうえ、来年4月からの消費税増税ではたまりません。

国民の所得を増やす
政策への切りかえが必要です

参議院選挙制度解説
参議院選挙は2回の投票があります。

1回目 選挙区選挙の投票は
「候補者名」を書きます

2回目 比例代表選挙の投票は
「政党名」を書きます

*候補者個人名でも
投票できます。



2013年7月号外

発行●日本共産党中央委員会
〒151-8586 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-26-7 TEL 03-3403-6111(大代表)
FAX 03-5474-8358 ホームページ <http://www.jcp.or.jp> メール info@jcp.or.jp

情報発信中!

JCP 検索

